

# 読まねかね 11月号

## しまね子ども読書フェスティバルin隠岐の島町 開催

10月23日（月）から29日（日）までの一週間、しまね子ども読書フェスティバルin隠岐の島町が、図書館で開催されました。各イベントにはたくさんの方が参加され、とても充実したフェスティバルとなりました。



### 幼児読書研修会&フックスタート研修会

28日（土）には、境港市より、鳥取県立保育専門学院などの講師を務められている足立茂美先生を講師にお迎えして研修会をおこないました。幼児読書研修会では、「幼児期は一生を通じて心豊かに生きていく素地づくり」と題して、お話いただきました。保育士の方を中心とする参加者の皆さんは熱心にお話に聞き入っていました。また、フックスタート研修会では、「フックスタートとは何か～境港市などの取り組みから」と題して、実際にフックスタートに取り組んでいる自治体の例を挙げながら、お話いただきとても参考になるものでした。



### 親子で創るmy絵本&読み聞かせ

29日（日）の午前中は、ボランティアの方と職員によるエフロンシアターや読み聞かせを行ったあと、島根県立図書館講師による絵本創作を行いました。絵を描くところから表紙をつけたり製本するまで、親子で一緒になって、絵本作りに挑戦しました。初めての絵本作りに子ども達はとても楽しそうでした。世界でたった一冊の自分だけの絵本ができあがりました。その後、「お父さんお母さんのための読み聞かせ講座」も行いました。読み聞かせの意義を島根県立図書館の方にお話いただきました。



## Main Event

### 工藤直子さん記念講演会

29日（日）の午後からは、読書フェスティバル記念講演会が開催されました。講師に詩人の工藤直子先生をお迎えして、「詩が生まれるとき～子どもの心がみるものは～」と題してお話いただきました。とても心に染み入るお話で、皆さん詩人になって帰られました。講演の中でされた詩の朗読もとても印象的でした。講演後のサイン会は握手や写真撮影など快く引き受けてください、とても和やかな雰囲気でした。また、30日（月）には、西郷小学校で朗読会をしていただきました。朗読とともに、詩のできた背景をお話いただいたりと、素晴らしい朗読会となりました。



## 白根一夫 斐川町立図書館館長による【まちづくりと図書館研修会】 『魅力あるまちづくり、図書館づくり』

日時 平成18年11月16日（木）午後7時～8時30分

会場 隠岐の島町図書館研修室 入場料 無料

まちづくり、自分づくりに情報基地の図書館をどう利用できるか、利用するか考えてみませんか。

図書館職員オススメの本

・・・今月は堤が紹介します・・・

### 『記憶の小瓶』

高樓 方子 クレヨンハウス

タイトルと著者名に惹かれて手にとった本です。「人の幼少期の話は、自分の幼少期の記憶を呼び覚まします。この極私的な回顧話に意味がすれば、その一点に尽きるでしょう。」これは、本の扉に書かれている高樓さんのことば。そうそう（と共感）・・・ また、物語をつくっておられる著者がどんな体験をもっているのかなという興味もありました。断片的ではあるけれど、自分の幼い頃の記憶がよみがえり、そのときどきにかんじたことてきたりもし、何十年を行ったり来たりしたような気がします。みなさんは、どんな記憶の小瓶をお持ちですか？  
\*『まあちゃんのながいかみ』『まあちゃんのまほう』『みどりいろのたね』は、まあちゃん(高樓さんの呼び名)が主人公のお話、『いたずらおばあさん』『時計坂の家』は、この本にも登場する姉の千葉史子(ちかこ)さん絵の作品です。